

全国初

地域バイオコミュニティに認定

これまで県と久留米市が連携し、久留米地域を中心に推進してきたバイオ関連企業などの集積を目指す「福岡バイオバレープロジェクト」の取り組みが評価され、今年6月、内閣府から「地域バイオコミュニティ」の第1号として認定されました。

認定を受け、久留米市と共同で記者会見を実施!



今年4月、久留米市にオープンした福岡バイオイノベーションセンター

バイオってどんなもの?

バイオ(バイオテクノロジー)は、生物の働きを利用して人々の暮らしに役立てる技術で、味噌などの「発酵」や野菜などの「品種改良」もバイオの1つです。

近年では iPS 細胞などの再生医療や微生物を使ったバイオ燃料、また、機能性表示食品の開発など、医療・環境・食品と、さまざまな分野に活用されています。

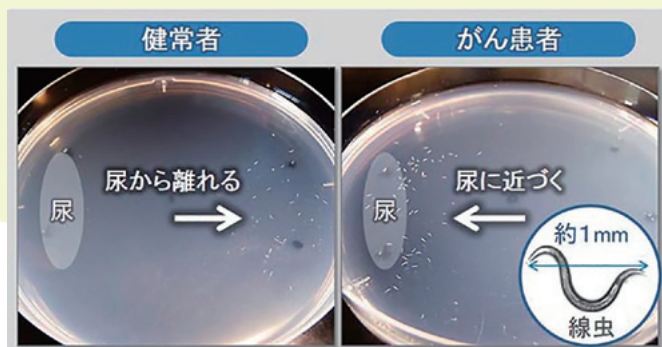


県産ブランド「はかた地どり」の胸肉が生鮮肉類では全国で初めて機能性表示食品に認定。認知機能の一部をサポートする効果があることが報告されています。

バイオ産業がより身近な存在に

一滴の尿でがんリスクを判定!

線虫ががん患者の尿に近づく習性を利用して、がんのリスクを判定する技術「^{エス}N-^{ノーズ}NOSE」を(株)HIROTSU バイオサイエンスが開発。簡便、安価、高精度(判定精度約85%)が特徴で、がん検診の受診率向上やがんの早期発見・早期治療が進み、健康寿命の延伸が期待されています。



新型コロナ治療薬の開発に着手

県は、(株)ボナックと共同して、次世代の薬として注目される「核酸医薬」の技術を用いた新型コロナ治療薬の開発を行っています。今年、国の事業に採択され、今後3年半で50億円の支援を受けることとなりました。現在、来年度の治験開始を目指して研究が進められています。

